

令和4年度 授業改善プラン 第6学年

【各教科の課題と授業改善策】

教科	課題	改善策	評価
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。 思考に関わる語句の量を増やし、語彙を豊かにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読むときにキーワードを見付けさせたり、文章のまとまりに注目させたりする。 話すときや文章を書くときに、自分の考えが分かりやすく伝わるように接続語を中心に提示する。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> 計算処理などで間違いがあった問題と似た問題を選択して、習得しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 習熟度別学習ではタブレット端末を毎時間利用する。教科書の問題を解き終わるなど空いている時間に自らの課題に合ったデジタルコンテンツで学習できるようにする。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な課題や背景と自分の考えを区別して表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な課題について、様々な資料から情報を整理してまとめさせ、出典を明らかにさせる。また、その解決方法について「自分ならどうするか」という視点で考えさせて、文章で説明させたり、友達と議論させたりする。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> 実験を進める中で、条件と働きとの関係を多面的に調べ、実験結果を捉えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項や身近な自然現象から、調べたいことや疑問に思うことを自ら課題設定ができるように、資料や動画を提示する。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> 巧みな動きを高める運動で、用具の操作や瞬発力を高める運動を増やすこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 準備運動に、用具の操作や瞬発力を養える運動を取り入れて指導する。 	
総合	<ul style="list-style-type: none"> 設定した課題を探求する中で、自ら社会に関わり参画しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の解決において、自分にできることや自分の生き方を考えるための視点を与える。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 多様な表現方法を身に付け、心情豊かに歌うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲想の違う歌曲を多く取り入れ、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いて歌えるようにする。 	
図工	<ul style="list-style-type: none"> 作品のテーマや構成を、作例に頼らず、自分自身の興味関心や思いを基に、自身で決定すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入での作例の提示を止め、必要な児童に適宜提示すると共に、自分自身の興味関心を振り返る時間を設け、これを基に作品のテーマを決定できるよう指導する。 	
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> 家庭生活や地域の人々との関わりをよりよくしようと工夫すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習を通して身に付けた技能や得た知識を家庭でも実践できるように課題を設定し、保護者からのコメント欄を設ける。 	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 英文を正確に書き写したり、教科書に紹介されている言語材料以外も活用したりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した語句を書き写す時間を設定する。単元の最後には、児童自身で文を考えて発表する機会を作り、教科書の言語材料以外を調べられる時間を設定する。 	

※年度末に、各改善策の達成状況について評価をする↑